

1. 科目名 (単位数)	経営学 (非営利組織の経営含む) (2 単位)	3. 科目番号	SBMP1119
2. 授業担当教員	武本隆行		
4. 授業形態	講義、グループワーク、グループディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	経営学関連科目を履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	本講義では、企業の活動における基礎的な諸概念、経営学用語、原理などの初歩を体系的に学ぶことによって、経営学の基本を身につけることを目的としている。そのために、経営学の学問的な性質、企業・経営の概念、経営管理、企業経営の内容、現代の経営学の役割など、各理論の概要の初歩を説明する。講義が抽象的にならないように、なるべく具体例を用いながら講義を進め、理論と実例の両側面から説明を展開していく。また、グループワークやグループディスカッションを通じて、受講者の主体的な参加によって、理解向上をはかる。		
8. 学習目標	1. 企業経営に関する基礎的知識を習得し、説明できるようになる。 2. 経営各分野について基礎的知識を習得し、専門科目履修時の理解力を向上させる。 3. 現代企業や団体の経営課題を把握し、課題解決の取り組み方法を選択できるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	各回の授業内容に即した題目について自身の考え (考察) を著し提出してもらおう。また、授業外時間に自身での下調べを要するレポート提出も不定期に実施。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 経営能力開発センター編『経営学検定試験公式テキスト 経営学の基本 第 53 版』中央経済社、2018。 【参考書】 必要に応じ授業内にて適宜提示する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 経営学的な思考が身についたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の 20% 2 期末試験 総合点の 50% 3 課題レポート 総合点の 30%		
12. 受講生へのメッセージ	先行き不透明な現代社会においては、主体性つまり「自らの考えや判断に基づき責任を持って行動すること」が極めて重要です。企業が新社会人に求める必須要件でもあります。受け身ではなく積極的発言をはじめとした能動的な授業への参加を求めます。		
13. オフィスアワー	初回授業内にて周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	企業システム (1) 企業と経営、企業・会社の概念と諸形態、所有・経営・支配と経営目的	事前学習	教科書 pp. 6~9 及び p. 16 を通読しておくこと。
		事後学習	「経営目的」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第 2 回	企業システム (2) 会社機関とコーポレート・ガバナンス、日本型企业システム	事前学習	教科書 pp. 34~36 を通読しておくこと。
		事後学習	「コーポレート・ガバナンス」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第 3 回	経営戦略 (1) 経営戦略の体系と理論、全社戦略 (特徴)	事前学習	教科書 pp. 84~90 を通読しておくこと。
		事後学習	「経営戦略理論」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第 4 回	経営戦略 (2) 全社戦略 (ドメイン・成長戦略)	事前学習	教科書 pp. 95~99 を通読しておくこと。
		事後学習	「成長戦略」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第 5 回	経営戦略 (3) 事業戦略、機能別戦略	事前学習	教科書 pp. 111~113 及び pp. 127~129 を通読しておくこと。
		事後学習	「事業戦略」の要点と課題をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第 6 回	経営組織 (1) 組織に関する基礎理論、経営組織の基本形態	事前学習	教科書 pp. 155~161 を通読しておくこと。
		事後学習	「組織理論」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第 7 回	経営組織 (2) 企業組織の諸形態、組織の制度・管理・文化	事前学習	教科書 pp. 168~176 を通読しておくこと。
		事後学習	「組織管理」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第 8 回	経営管理 (1) 経営管理の基礎理論 (管理課程論ほか)	事前学習	教科書 pp. 198~200 を通読しておくこと。
		事後学習	「管理課程理論」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第 9 回	経営管理 (2) 経営管理の基礎理論 (動機づけ理論ほか)	事前学習	教科書 pp. 211~212 及び pp. 216~220 を通読しておくこと。
		事後学習	「動機づけ理論」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。

第10回	経営管理(3) マネジメントの階層とプロセス、経営計画	事前学習	教科書 pp. 235～237 及び pp. 240～241 を通読しておくこと。
		事後学習	「経営計画」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第11回	経営管理(4) コントロール	事前学習	教科書 pp. 252～254 を通読しておくこと。
		事後学習	「予算管理」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第12回	経営課題(1) M&A と買収防衛策、経営のグローバル化	事前学習	教科書 pp. 264～269 を通読しておくこと。
		事後学習	「M&A」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第13回	経営課題(2) 企業経営と情報化	事前学習	教科書 pp. 294～295 を通読しておくこと。
		事後学習	「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第14回	経営課題(3) CSR と企業倫理、環境経営	事前学習	教科書 pp. 300～302 を通読しておくこと。
		事後学習	「SDGs」の要点をまとめた上で、自分の言葉で整理しておくこと。
第15回	総まとめ	事前学習	授業当日の朝刊を読み、興味のある記事をひとつ選択しておくこと。
		事後学習	授業全体で学んだ内容をまとめる。
期末試験			